



広報

# とみおか

8

No.598



スイカを食べて夏満喫

富岡幼稚園

# 避難指示区域の見直しに伴う賠償基準の考え方が示されました

経済産業省が、避難指示区域の見直しに伴う賠償基準の考え方を取りまとめました。

賠償基準は、賠償の実施主体である東京電力株式会社が決めるものですが、今回の賠償基準は避難指示区域の見直し及び被害を受けた自治体、住民の方々の実情を伺い、それを踏まえて賠償基準に反映させるべき考え方を取りまとめることとしました。

今後、この賠償基準の考え方を受けて東京電力が具体的な賠償基準を策定することとなっています。

## (1) 不動産(住宅・宅地)に対する賠償

### 【基本的な考え方】

① 帰還困難区域においては、事故発生前の価値の全額を賠償し、居住制限区域・避難指示解除準備区域は、事故時点から6年で全損として、避難指示の解除までの期間に応じた割合分を賠償する。

※ 居住制限区域・避難指示解除準備区域において、避難指示の解除時期に応じた割合分は次のとおり。

【事故時点から6年経過以降：全損、5年：6分の5、4年：6分の4、3年：半額(6分の3)、2年：6分の2】

② 解除の見込み時期までの期間分を当初に一括払いをすることとし、実際の解除時期が見込み時期を超えた場合は、超過分について追加的に賠償を行うこととする。

※ 解除の見込み時期は、市町村の決定があればそれを踏まえて決定することとしているが、事前に特別な決定がない場合は、居住制限区域であれば事故時点から3年、避難指示解除準備区域であれば事故時点から2年を標準とする。

### 【事故発生前の価値の算定】

①	土地	宅地については、固定資産税評価額に1.43倍の補正係数をかけて事故前の時価相当額を算定する。
②	建物	住宅については、固定資産税評価額を元に算定する方法と、建築着工統計に基づく平均新築単価を元に算定する方法を基本とし、個別評価も可能とする。
		(ア) 固定資産税評価額に補正係数をかけて事故前価値を算定する方法
		1. 該当不動産が新築であると仮定した場合の時価相当額を算定する。
		A) まず、事故前の固定資産税評価額を元に経年減点補正率(減価償却分)を割り戻して、当該建物の新築時点での固定資産税評価額を算定する。
		B) 次に、A)で算定した固定資産税評価額と新築時点での時価相当額との調整を行うため1.7倍の補正係数をかける。
		C) さらに、新築時点と現在との物価変動幅を調整するため、それぞれの建築年に応じた補正係数をかける。
		2. その上で、公共用地の取用時の耐用年数(木造の場合は48年)を基準とし、定額法による減価償却を行い、築年数に応じた事故発生前の価値を算定する。また、残存価値には20%の下限を設ける。
		3. 外構・庭木については、1.で算定した時価相当額の15%として価値を推定しつつ、そのうち庭木分として5%は経年による償却を行わないこととする。
		(イ) 建築着工統計による平均新築単価から事故前価値を算定する方法
		1. 建物の居住部分(注)については、建築着工統計における福島県の木造住宅の直近の平均新築単価をもとに、(ア)と同じ減価償却、残存価値の下限、外構・庭木の評価を適用して、事故発生前の価値を算定する。
		2. その際、築年数が48年以上経過した建物の居住部分(注)については、最低賠償単価(約13.6万円/坪)を適用する。(注)事故時点に自己の居住の用に供されていた部分
		(ウ) 個別評価
		土地・建物について、様々な事情により、(ア)や(イ)の算定方法が適用できない場合には、別途個別評価を行う。その際、契約書等から実際の取得価格を確認し賠償額の算定に用いる方法なども検討する。
③	住宅の修復費用	住宅について、早期に修繕等を行いたいという要望も強いことから、基準公表後、建物の賠償の一部前払いとして、建物の床面積に応じた修復費用等を速やかに先行払いすることとする。 ※具体的には、個人所有の建物について、該当床面積に比例した金額(1㎡当たり1.4万円)を支払うこととする。










## (2) 家財に対する賠償

① 家族構成に応じて算定した定額の賠償とし、帰還困難区域は、避難指示期間中の立入などの条件が異なり、家財の使用が大きく制限されること等から、居住制限区域・避難指示解除準備区域と比較して一定程度高くなる設定とする。

※ なお、居住制限区域・避難指示解除準備区域は立入回数がより多くなるという前提で、立入に要する費用を算定し、一括払いを行う。

②損害の総額が定額を上回る場合には個別評価による賠償も選択可能とする。

(単位：万円)

世帯人数	1名	2名	3名		4名		5名	
大人								
子ども	—	—		—		—		—
帰還困難区域	325	595	635	655	675	715	735	775
居住制限区域 避難指示解除準備区域	245	445	475	490	505	535	550	580

※上記家族構成以外の場合も構成人数に応じて定額を算定

### (3) 営業損害・就労不能損害に対する賠償

#### ①営業損害、就労不能損害の一括払い

従来の一定期間毎における実損害を賠償する方法に加え、一定年数分の営業損害、就労不能損害を一括で支払う方法を用意する。

- (ア) 農 林 業：5年分※1
- (イ) その他の業種：3年分※2
- (ウ) 給 与 所 得：2年分※3

- ※1 一括払いの算定期間は農林業については、2012年1月分から2016年12月分まで。ただし、2012年1月分から2012年6月分について既に支払われたか、又は支払われる予定の額があるときには、その額を除いた額とする。
- ※2 一括払いの算定期間は2012年3月分から2015年2月分まで。ただし、2012年3月～6月分について既に支払われたか、又は支払われる予定の額があるときには、その額を除いた額とする。
- ※3 一括払いの算定期間は2012年3月分から2014年2月分まで。ただし、2012年3月～5月について支払われた、又は支払われる予定の額があるときには、その額を控除した額とする。
- ※4 漁業については検討中。
- ※5 大企業(同規模の公益法人を含む。以下同じ)については、一括払いの対象外とする。

#### ②営業・就労再開等による収入は差し引かず

営業損害及び就労不能損害の賠償対象者が、営業・就労再開、転業・転職により収入を得た場合、一括払いの算定期間中の当該収入分の控除は行わない。

#### ③事業再開費用等

帰還して営農や営業を再開する場合、その際に必要な追加的費用に加え、一括払いの対象期間終了後の風評被害等についても別途賠償の対象とする。

### (4) 精神的損害に対する賠償

①2012年6月以降の精神的損害について、帰還困難区域で600万円、居住制限区域で240万円(2年分)、避難指示解除準備区域で120万円(1年分)を標準とし、一括払いを行う。

②居住制限区域、避難指示解除準備区域について、解除の見込み時期が①の標準期間を超える場合には、解除見込み時期に応じた期間分の一括払いを行う。その上で、実際の解除時期が標準の期間や解除の見込み時期を超えた場合は、超過分の期間について追加的に賠償を行うこととする。

## 町民と行政をつなぐ 行政区長会を開催

町行政区長会が7月4日、富岡町役場郡山事務所で行われ、遠藤町長から24人の行政区長一人ひとりに委嘱状が手渡されました。

引き続き、役員改選が行われ、会長に坂本壽昭さん(杉内行政区長)、副会長に早川雅通さん(駅前行政区長)、松本政喜さん(小浜行政区長)が選任されました。

各行政区の区長は次のとおりです。  
(敬称略)



- ◎杉内 坂本 壽昭
- 仲内 三瓶 一義
- 高津 猪狩 俊幸
- 下千 鎌田 光利
- 大菅 未定
- 夜の森駅前北 横須賀 富夫
- 夜の森駅前南 松崎 英教
- 新木 未定
- 赤木 大川 清
- 上本 堀本 良一
- 王塚 上神谷野理 男
- 本町 猪狩 恒真
- 岩井 猪狩 恒男
- 清水 坂本 正男
- 上郡 渡辺 庄一
- 太田 根本 洋一
- 下郡 山根 謙一
- 毛萱 佐藤 定
- 仏浜 未定
- 駅前 早川 雅通
- 西原 小野 一男
- 小浜 松本 政喜
- 深谷 関根 憲一
- 小良ヶ浜 関根 稔
- 栄町 渡辺 信夫
- 新夜ノ森 今野 輝昭

(◎会長、○副会長)  
※行政区長が未定の行政区については、決定次第お知らせします。

## 仲山フサさん(中央)、渡邊ナツさん(岩井戸)に 100歳賀寿贈呈

仲山フサさん(中央)が7月15日に、渡邊ナツさん(岩井戸)が7月19日に満百歳の誕生日を迎えられ、親族や関係者が同席のもと、それぞれの避難先で百歳賀寿贈呈式が行われました。

贈呈式では、金木明県相 双保健福祉事務所長が知事の賀寿と記念品を贈呈。遠藤町長が、記念品や祝い金、お祝いの言葉を贈りました。

親族を代表してフサさんの長男 陽一さんが「周囲の支えでこの日を迎えられた」と謝辞。ナツさんの長男 貞さんも「子どもが全員揃って、賀寿を祝うことができました」と謝辞を述べました。

フサさんは、明治45年に旧石城郡飯野村(現いわき市)で生まれ、昭和10年に結婚。3人の子宝に恵まれ、嫁ぎ先の家業である仲山時計店を切り盛りしていまし

ました。また、多彩な趣味を持ち、震災前はゲートボールを30年間続けるなど、活動的な生活を送っていました。現在は、富岡町の自宅に帰る希望を持ち、日々健康管理に励まれています。

ナツさんは、明治45年旧龍田村(現檜葉町)で生まれ、昭和6年に結婚。8人の子宝に恵まれました。ご主人と共に農業に従事し、体を動かすことを苦とせず、大家族の母として渡邊家を守ってきました。その温厚で優しい人柄から地域の皆さんにも慕われていました。

現在は、入浴中の体操を日課とし、健康への意欲を忘れることはありません。

お二人の長寿の秘訣は、「規則正しい生活」と「何でも食べること」だそうです。

富岡町民で現在百歳以上の方は、フサさん、ナツさんを含めて6人となります。



渡邊ナツさんと親族の皆さん



仲山フサさんと親族の皆さん

# 新委員12人決定 町農業委員会

任期満了に伴う町農業委員会委員の一般選挙は6月28日に告示(投票日7月11日)されましたが、定数12人に対し立候補の届出が同数のため、無投票当選で新委員が決まりました。

当選証の付与式は7月9日に行われ、猪狩力町選挙管理委員長が当選者一人ひとりに当選証書を手渡しました。

また、選任委員として、ふたば農業協同組合、双葉地方農業共済組合、富岡土地改良区から委員それぞれ1人と町議会から女性委員2人を含む3人を推薦。同日9日に遠藤町長から辞令が交付され、委員全員が決まりました。

## 会長に中野正幸氏選任

総会では、議席順や会長、会長職務代理者などが決められました。会長に中野正幸氏、会長職務代理者には佐々木賢一郎氏が選任されました。

委員の任期は、平成24年7月8日から平成27年7月7日までの3年間です。

各委員は次のとおりです。  
(敬称略)



会長  
中野 正幸(61)  
公選  
塚王



職務代理者  
佐々木賢一郎(72)  
公選  
小良ヶ浜



渡邊 伸(52)  
公選  
塚王



遠藤 清一(62)  
公選  
高津戸



横田起代三(62)  
公選  
駅前



堀本 高次(72)  
土地改良区推薦  
高津戸



堀川 一夫(61)  
公選  
上郡



渡邊 高一(52)  
公選  
岩井戸



原田紀衣子(71)  
議会推薦  
栄町



渡邊 董綱(58)  
公選  
下千里



渡邊 康男(62)  
農協推薦  
毛萱



橋本 昇(60)  
公選  
下郡山



深谷 昇(59)  
選谷



佐藤 邦子(62)  
議会推薦  
新夜ノ森



塚野 芳美(61)  
議会推薦  
西原



池田 正一(63)  
公選  
新夜ノ森



三瓶 一昭(60)  
共済組合推薦  
仲町



遠藤 祝穂(68)  
公選  
仲町

## 町監査委員辞令交付式

町の財務や事業の監査を行う監査委員に高野泰さんが選任されました。

平成12年4月から長きにわたり努められた猪狩弘二前委員が退任されることになったため、6月議会で同氏の選任案が同意され、6月22日付けで就任となったものです。

同日、辞令交付式が富岡町役場郡山事務所で行われ、田中副町長より辞令が交付されました。



平成25年富岡町成人式  
のご案内

▼会場

ベルヴィ郡山館  
福島県郡山市山根町8-7  
024-923-1165

▼日時

平成25年1月13日(日)  
受付 12時30分～13時20分  
式典・懇談会等  
13時30分～16時

▼対象者

平成4年4月2日～平成5年4月1日生まれの富岡町に住所を有する者及び町立中学校卒業生

▼その他

・対象の方には11月中旬頃に案内文書を送付します(11月末頃までに届かない場合は、ご連絡をお願いします)。  
・会場における着付け・美容等につきましては、直接ベルヴィ郡山館にお問合せください。

富岡町教育委員会生涯学習課

ふくしま大卒等合同就職面接会

新たに大学等を卒業予定の方、平成22年3月以降に卒業して、現在就職活動をしている方を対象に、正社員で雇用する計画のある県内企業との面接会を左記日程のとおり開催します。ぜひご参加ください。

▼開催日8月20日(月)

13時30分～16時

▼実施内容

・就職支援セミナー 11時～12時  
合同就職面接会 13時～16時

・会場

ビッグパレットふくしま

▼主催

郡山市南2丁目52番地  
厚生労働省福島労働局、  
新卒応援ハローワーク、福島県

▼その他

・事前申込不要。お気軽にお越しください。  
・参加事業所は各会場の開催一週間前に、福島労働局HP上で公開します。  
・事業所のブースにおける人事担当者との個別面談、安定所等各機関による職業相談・情報提供等を行います。  
024-526-5366

富岡町交通傷害保険の  
振込受付を開始します

町では郡山事務所及び、いわき、三春、大玉の各出張所窓口で、富岡町交通傷害保険の加入受付を行っています。新たに郵便振込による加入受付を開始します。

富岡町交通傷害保険の  
振込受付を開始します

町では郡山事務所及び、いわき、三春、大玉の各出張所窓口で、富岡町交通傷害保険の加入受付を行っています。新たに郵便振込による加入受付を開始します。

▼加入条件

・加入時に富岡町に住民票を有する方  
・交通事故全般に対応します(歩行中のケガを除く)。  
・年額1口480円(月額40円)で、1人2口まで申し込みできます(小中学生、70歳以上の方、消防団員は町の補助により一口加入済み)。※未就学児のいる世帯へは、3月中旬に補助加入申請書を送付しています。保

▼加入までの流れ

①電話で希望する加入内容(加入者氏名・口数を伝える)。  
②町から送付された記入済加入申込票の内容を確認。  
③加入申込票に同封されているゆうちょ銀行振込取扱票で、最寄りのゆうちょ銀行にて振込みをする。

▼保険内容

・治療を受けた場合 5千円～12万円  
※事故証明の提出を依頼することがあります。事故に遭われた際は必ず警察へ連絡してください。

▼支払われる主な保険金

(1口につき)  
・亡くなったとき 100万円  
・重度の障がいが残った場合 100万円

▼加入までの流れ

①電話で希望する加入内容(加入者氏名・口数を伝える)。  
②町から送付された記入済加入申込票の内容を確認。  
③加入申込票に同封されているゆうちょ銀行振込取扱票で、最寄りのゆうちょ銀行にて振込みをする。

▼加入までの流れ

①電話による加入受付依頼日を加入日とします。  
富岡町生活環境課 消防交通係

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所では、避難されている農家の皆さまに必要な情報(農産物・土壌モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など)を分かりやすくご説明するため、毎月県内5カ所に、相談窓口を設置しています。最寄りの窓口にお気軽にお越しください。

富岡町双葉農業普及所

0246-24-6044  
0246-24-6142

開催日	開催地区	開催場所	開催時間
8月17日(金)	いわき市	いわき明星大学学生会館2階	10:00~15:00 (8月23日(郡山市)は午前中のみ開催)
8月23日(木)	三春町	三春貝山多目的運動公園管理棟	
8月23日(木)	郡山市	郡山市緑ヶ丘東7丁目応急仮設住宅集会所	
8月24日(金)	会津若松市	J Aあいつ本店3階	
8月30日(木)	二本松市	男女共生センター1階	

# お知らせ

## 県民健康管理調査基本調査(問診票)について

県では、震災や原子力災害を受け、長期にわたって県民の皆さんの健康を見守り、将来の健康増進に繋げていくことを目的として「県民健康管理調査」を実施しています。

問診票をまだ返送されていない方は、ご記入の上返送をお願いします。記入方法が分からない、問診票が届いていない、問診票を紛失してしまった場合などは、お問合せください。

岡県立医科大学放射線医学  
県民健康管理センター  
☎024-549-5130

## 原子力損害賠償に係る巡回法律相談のご案内

福島県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による対面の法律相談を実施し被害者の皆さまを支援しております。

相談は無料ですので、請求手続きにおける不明な点など、お気軽にご相談ください。

なお、事前予約制となっておりますので、ご注意ください。

巡回法律相談実施予定表

実施地区	実施日	実施会場
福島市	8月22日	福島県青少年会館第6研修室 福島市黒岩字田部屋53-5
	8月23日 8月31日	福島県郡山合同庁舎第5会議室 郡山市麓山1-1-1
白河市	8月23日	白河商工会議所会議室 白河市道場小路96-5
会津若松市	8月21日	福島県会津若松合同庁舎本館1階会議室
	8月31日	※8/31は3階地域連携室 会津若松市追手町7-5
南会津町	8月22日	福島県南会津合同庁舎2階会議室 南会津町田島字根小屋甲4277-1
南相馬市	8月23日	福島県南相馬合同庁舎402会議室
	8月30日	南相馬市原町区錦町1-30
いわき市	8月28日	福島県いわき合同庁舎南分庁舎3階中会議室 いわき市平字梅本15

▼受付番号  
☎024-523-1501  
(原子力損害賠償等に関する問い合わせ窓口)

▼受付時間 8時30分～20時 (平日)

▼相談時間 30分(13時30分から15時50分の間に実施)

▼相談料 無料

▼実施日程 左記予定表のとおり

岡福島県生活環境部  
原子力賠償支援課  
☎024-521-8045

## 富岡消防署からのお知らせ

# 消すまでは 出ない行かない 離れない

～平成24年度全国統一防火標語～

## 花火による火災・事故を防ごう

夏といえば花火を連想する方も多いと思います。しかし、花火にはその美しさとは裏腹に危険な部分も多々あります。毎年誤った取り扱いが原因の事故が絶えません。楽しく花火で遊べるよう、製品ごとの「使用上の注意」をよく読み、正しい取扱をしましょう。

## 花火による事故防止のための10のポイント

- ①花火に書いてある注意事項をよく読み、必ず守る。
- ②花火を人や家に向けたり、燃えやすいもののある場所では使用しない。
- ③風の強いときは、花火をやらない。
- ④必ず水の入ったバケツを用意して遊ぶ。
- ⑤遊び終わった花火は、バケツの水につけ、残り火を完全に消す。
- ⑥子供達だけでなく、大人と一緒に遊ぶ。
- ⑦一度にたくさんの花火に火をつけない。
- ⑧正しい位置に、正しい方法で点火する。
- ⑨吹き出し、打ち上げ等の筒物花火は途中で火が消えても筒をのぞかない。
- ⑩花火をほぐしたり、ばらしたりしない。



岡富岡消防署 檜葉分署  
☎0240-25-2119

# TOMIOKA

# 桜通信

さくら

麓山の火祭り（平成 20 年 8 月）

第4号



東日本大震災と原発事故により、私たちは、ふるさとを離れ、全国に分散した避難生活を強いられています。

この「TOMIOKA（とみおか）桜通信」では、避難生活を続ける皆さんのもとを訪ね、皆さんの声をお届けし、ふるさと「富岡」という「絆」をつないでいこうというものです。

現在は、毎週月曜日、大玉村仮設住宅の診療所で診察にあたっています。震災があったとき、私は、新夜ノ森の医院（さくらクリニック）で診察中でした。当時、患者さんとスタッフを合わせて約30名近い人がおりましたが、全員無事だったことが救いました。

私は、震災が起きる3ヶ月前から妻（眞弓）とともに町内で暮らし始め、本格的に生活の基盤を富岡に移したばかりの被災となりました。

震災発生の翌朝（3月12日）に避難を始め、当日は、川内村の診療所で避難をされてきた皆さんの診察にあたっていました。その後、郡山市内の妻の実家に世話になっていましたが、新聞報道で町民の皆さんがビッグ・パレットふくしま（BPF）に避難していることを知り、看護師である妻とともに、井坂、堀川両先生らと合流し、避難されてきた皆さんへの医療活動にあたりました。当初は、設備も薬もない状態でしたが、郡山市内の医療機関や、仲間の医師、薬剤師の方々の協力を得て、可能な限りの処置を行うことができました。



福島県

安達郡大玉村

佐藤 正憲 さん  
(新夜ノ森)

私は昨年4月末から、郡山市内の病院に勤務しながら土曜日のみBPFでの診察に当たりましたが、妻は看護師として、避難所の医療班が解散するまで、各地から駆けつけたボランティア医療者と患者さんとの調整役をつとめていました。また先月より、火曜日から金曜日まで、富岡町に隣接する川内村の診療所（ゆふね内）で診療しています。

先が見えない環境で、私たちを含め町民の多くの方が未だに「塩漬け」のような状態とされます。そうした中では、無気力になってしまいう方も少なくありません。また、原発事故からの避難による環境の変化が、既往症を悪化させていることが否定できないケースもあります。

こうした生活が1年4ヶ月以上経過し、心身共にお疲れとは思いますが、希望を持ちつつ、健康管理には十分注意してください。



看護師である妻とともに診察にあたっています





福島県  
西白河郡西郷村  
齊藤 友子 さん  
(新夜ノ森)

私は勤務先(学法富岡幼稚園)、夫は稲葉の勤務先、2人の娘は町内の学校、義父は自宅それぞれ被災しました。無事であったことは、せめてもの幸いでした。震災発生当日夜の屋内退避、翌日朝には避難指示がありましたが、念のための事で、差し迫った危険という印象はありませんでした。

私たち一家は、翌日朝、川内村に避難しました。その午後、夫と義父は飼育している牛(繁殖牛)が心配で、一度、自宅へと向かいました。夕方戻ってきましたが、夫から「人のいない街はゴーストタウンのようで、そんな中、雷がおちるような音がした。」と聞かされました。その「雷が落ちるような音」が気になった夫は、警察や消防に尋ねましたが、分らないという返事でした。そうしているうちに、川内を離れる人の姿が目につくようになり、ニュースで原発の爆発について伝えられたため危険が迫ったと判断。親類とともに村を離れました。

その後、県内数ヶ所の避難所等を



夫・長女・義父・本人 (写真左から)

を経て、昨年5月末、現在生活している借上住宅へと移りました。

今、勤務先の関係で夫はいわきに単身赴任、次女はテニスに注力したと群馬の学校に通うなど、バラバラの生活となっていますが、幸いにも、震災発生当時高校2年生の長女は、隣市にあるJA福島厚生連白河厚生病院付属高等看護学院に進学することができました。看護師を目指して新たな一歩を踏み出しています。

原発事故で土地を追われるまで農業をしていた義父は、避難開始以来、元気を失っていました。最近、借上住宅の家主のご厚意により、住宅周辺の空地を畑として貸していただき、野菜づくりを始めました。野菜の世話をしている義父は、以前のようにとはいかないまでも、元気を取り戻してきているように感じられます。



福島県  
喜多方市  
遠藤 祝穂 さん  
(仲町)

私は長い間、常磐富岡IC付近で耕作放棄地解消の事業に取り組んできましたが、間もなく事業完了というところで、震災、原発事故。これまでの苦労が水の泡と化してしまいました。

また、手先を使って何かを造ることが好きな私は、定年退職以降、自宅周囲に囲い塀を造ったり庭や畑を手入れするなど、自宅こそ「我が城」という気持ちで、いろいろと手を掛けてきました。しかし、そうした自宅は、一時立入の度に朽ちていっており、例えば地震で傾いたその囲い塀は、二巡目までは立っていたものの、三巡目には倒れているといった具合で、悲しみ以外の何物でもありません。

避難開始後、県内に住む親類のもとを経て、現在、喜多方市内の借上住宅に、私と妻、長男一家がそれぞれ隣り合って生活しています。

見知らぬ土地での生活に、当初は戸惑いましたが、借上住宅の家主も含め周囲の皆さんからの温かい支援には感謝でいっぱいです。しかし、

サロンの看板を掲げて日は浅いですが、富岡町民を含め避難を続ける相双地区の皆さんが交流できるようにという願いを込めましたので、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

避難生活は、支援を受けるだけでなく「自助」と、恩に報いる「報徳至誠」が基本と思っている私は、自分から地域に飛び込んでいこうと思い、朝の散歩で近所の皆さんにあいさつをするところから始まり、現在は、地元祭「レトロ横丁」や各種地域活動に加わるようになっていきます。

また、その家主のご厚意で、入居している借上住宅の1階にある空き店舗と様々な備品の提供を受け、妻と2人で、さまざまに手を加えながら、私たち避難者と地域との交流スペース「そうそう絆サロン」を設けることができました。



気軽にお立ち寄りください (妻・写真右)



## 神 栖 市

堀本 めぐみ さん  
(高津戸)

私の自宅は地震で大きな被害を受けました。今まで経験したことがない揺れに、生後9か月(当時)を迎えた次男を守ることで精一杯でした。電気もなく、余震が続く中、あの夜は車で一夜を過ごしました。

朝を迎えて避難となり、近所に住む両親や兄妹、友人たち家族とともに川内村へと向かいましたが、到着した時には村中が避難者で一杯でした。私たちは、同村内の知人宅を経て、会津の親類のもとへと向かいました。

磐梯町や会津若松市で数日間過ごしましたが、私たち親子4人は、夫の仕事の都合で現在生活している神栖市に、両親は知人を頼って秋田県へと向かいました(現在は大玉村仮設住宅に入居)。

私はこの避難生活を強いられるようになるまで、ふるさと「富岡」で生活してきました。というよりは、富岡以外で生活したことが無いといったほうが適当かもしれません。それゆえに、「知らない土地」で「知らない人しかいない」中で暮らすこ

とは、とても淋しく、辛いものです。昨年4月初旬、現在暮らしている借上住宅での生活が始まりました。こちらは、原発事故こそないものの、津波と液状化で大きな被害を受けている被災地です。生活を始めるにあたり、家電をはじめ生活用品をかうために市内の量販店などに行きましたが、十分に品物が無く、大変な思いをしました。

こちらでの生活も1年を超えました。幸いにも、長男(震災発生当時中学2年生)は転校先の学校にもなじみ、友達も数多くできました。また、学用品や部活(野球)道具も何もない状態でしたが、通学先の保護者の皆さんの温かいご支援で、何不自由なく揃えることができました。感謝の気持ちは今も変わりません。



夫・私と次男・長男 (左から)



## いわき市

早川 利夫 さん  
(西原)

あの時(震災発生時)は、娘の中学校卒業式があったため、妻と共に自宅におりましたが、地震の発生を受け、卒業式を終えて町内の飲食店にいた娘を迎えに行きました。一方で、いわき市内の高校に通っていた息子とは連絡がとれません。学校へ迎えにと考えましたが、道路の損傷がひどく、断念しざるを得ませんでした。幸いにも、夜になって携帯電話がつながり、友人宅に身を寄せていることを知り、ほっとしました。

翌朝、避難指示に伴い、町内の病院に入院中だった母、町内に住む兄弟夫婦とともに、川内村へと向かいました。その後、息子が身を寄せていた友人宅に向かい、ようやく家族4人が揃いました。

その友人宅に一晚お世話になりましたが、翌日以降、いわき市内の避難所を経て、塙町内の宿泊施設へと向かいました。この施設にたどり着き、震災発生以降、初めて風呂や食事をいただけただけなのに、大きなありがたさを感じました。このまま、この施設にお世話になろうかとも思い

ましたが、原発が爆発したニュースを見て、県外への脱出を決断し、千葉や埼玉の親類に世話になり、しばらくそちらでの生活を送っていました。

私の勤務先の事業再開や子どもたちの学校(高校)の授業再開などのために、いわき市内の親類のもとを経て、昨年5月から現在の借上住宅での暮らしが始まりました。ここに落ち着くまでお世話になった親類には、感謝の気持ちでいっぱいです。この春、息子は無事に高校を卒業し、いわき市内の企業に就職しました。富岡町内にあった私の勤務先は田村市船引町に避難移転しているため、毎日いわきへ船引間を通勤しています。

あの日から全てが一変してしまいました。子どもたちや私たちの生活がどうなるのか、避難生活がいつまで続くのか。将来を含めてどうなるのか、国や東電には白黒をはっきりして欲しい気持ちです。



親子4人元気にしてます(本人右下)



福島県

会津若松市

学校法人  
富岡幼稚園



堀内 陸子 園長

離れ離れの生活が始まって、500日以上が経過しました。昨年、3月11日を境に全てが大きく変わってしまいました。不自由な生活の中で、皆さん、元氣にお過ごしでしょうか。私たち学校法人富岡幼稚園は、福島県幼稚園協会会員各位のご協力のもと、昨年9月、会津若松市内の閉園した幼稚園をお借りして最小限ではありますが、仮園舎を開設しました。



会津若松インター近くに開設された仮園舎

激しい揺れのため、園舎内にあるものは倒れたり、散乱したりしましたが、園舎そのものはガラスが割れる程度だったため、土日を利用して片付けさえすれば、週明け14日から再開できると思っていました。しかし翌朝、原発事故の深刻化のため避難を余儀なくされました。当初、会津若松市内に避難しましたが、せいぜい数日間のことだろうと信じて疑いませんでした。しかし、原発が次々と爆発するなど、状況は悪化するばかりだったため、さらに遠くへということで新潟県内に移動しました。そうした避難の中、子どもたちの姿を見るたびに園児一人一人の顔が思い浮かび、辛さとももできない悔しさを感じる日々でした。



楽しく昼食をとる園児たち

そうした中、4月、5月と時間が経つにつれて、園児の保護者の皆さんから、幼稚園の再開についてお声掛けを頂くようになりました。私たちは、先が見えず公的支援も十分とはいえない中、悩みましたが、「富岡で幼稚園を開設して40数年、ここで諦めるわけにはいかない。」そう決意して仮園舎の開設へとこぎつけました。避難開始から約半年経過していましたが、震災前まで勤務していた教諭2名に声をかけたところ、快く合流していただき、現在、私以下5名体制で運営しております。



お昼寝間近の子ども(託児)たち

今のところ、お預かりしている子どもたちは園児3名、託児5名の計8名。そのほとんどは私たち富岡をはじめとする双葉郡内から会津地方に避難しているお子さんです。

また、避難中の親御さんを対象にした茶話会なども折りをみて開いており、毎回数多くの皆さんに参加いただいています。震災発生以降、避

難所や仮設住宅、借上住宅での生活など、大人も大変でしたが、子どもたちは、それ以上にストレスを抱えています。また、子どもたちは、苦悩する大人の姿から無意識のうちにいろいろな事を敏感に感じ取っています。避難開始から一年以上経った現在、そうした子どもたちのストレスが、行動の変化というかたちで出てきていることもありますので、お子さんの様子について、一度、見直されてはいかがでしょうか。

住みなれない土地で、不自由な避難生活が続きますが、お子さん共々、健康にだけはご留意ください。

●学校法人 富岡幼稚園 連絡先  
〒九六五・〇〇七七  
会津若松市高野町大字上高野  
字村内一二七  
Tel (〇二四二) 八五・八四二三

## 第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会 富岡町チーム選手候補者を募集します



福島県庁ゴール地点にて(昨年度大会より)

◇問合せ先 (財)富岡町体育協会 080-2826-0227

晩秋の福島路を舞台に、県内各市町村から選抜されたランナーが激しいデッドヒートを繰り広げる市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会が、今年も下記のとおり開催されます。

町体育協会では、大会出場に向けた合同練習や記録会に参加していただく本町選手候補者を募集しています。駅伝に興味のある方や長距離走に自信のある方など、ぜひお申し込みください。なお、事前に説明会を行います。日程につきましては申し込まれた方へ個別にご連絡を差し上げます。

◇大会期日 平成24年11月18日(日)

◇コース 白河市～福島市  
(16区間 95.6km)

◇参加資格 中学生以上の男女

## 温かいご支援ありがとうございます

平成24年5月から6月末までに義援金を頂いた企業名、団体名、個人のお名前を掲載いたします



東京都品川区様(濱野 健 品川区長)

◇順不同・敬称略

タナカ、井川自転車店、小島國男、吉田和子、佐藤大士、関根茂樹、湖南省工業会、アイタイ、河南良枝、野原裕美、中田正一、株式会社析雪、福島県仏教会会長 徳成寺住職 三村眞城、日本自治体労働組合総連合、(株)ヌード、村井歯科医院院長 村井明彦、在京富岡友の会、東亜道路工業株式会社取締役社長 大西義嗣、株式会社ニック代表取締役社長 松浦豊喜

※その他匿名での寄付もごさいます。



郡山中央交通株式会社様(代表取締役 桑原秀治さん)



東京福島県人浜通り会様(会長 鈴木 實さん)

平成24年6月29日現在、全国から460件、4億5,662万8,381円の義援金が寄せられました。このうち、2億3,994万円を町民の皆さまに配分しており、残金は今後の町の復興のために使わせていただきます。皆さまの温かいご支援、誠にありがとうございます。

## 離れていても大切な仲間 —富岡第二中学校卒業生同窓会—

とみおか子ども未来ネットワーク主催による平成22年度富岡第二中学校卒業生の同窓会が、6月24日に東京都の日本化学未来館において行われ、卒業以来会う機会の無かった生徒8人が、避難後初めての再会を果たしました。

昨年3月11日、卒業式の直後震災に見舞われ、仲間と別れの言葉も交わせないまま全国に離ればなれとなってしまった生徒たちですが、同窓会では1年以上空いた時間を取り戻すかのように近況報告や思い出話に花を咲かせました。会の最後には生徒代表の猪狩美貴さんが「このような機会を設けていただき、ありがとうございました。今日は友だちといろいろな話ができ嬉しかったです」と御礼の言葉を述べ、必ずまた会うことを約束して散会となりました。

とみおか子ども未来ネットワークでは、今年10月に平成22年度富岡第一中学校卒業生を対象に同窓会イベントを開催予定となっています。



話が尽きず楽しい時間を過ごした生徒たち

## 富岡コンバット野球クラブ —避難のハンデを乗り越え2年連続県大会へ—



強いチームワークで大会に臨む富岡コンバットの皆さん  
(写真提供：福島民報社)

第54回福島県早起き野球大会双葉郡予選が過日行われ、富岡コンバット野球クラブが優勝し県大会出場を決めました。

富岡コンバットはメンバー21人が県外に避難し、十分な練習が出来ない中での優勝となりましたが、県大会へ向け、桑原憲二監督が「富岡コンバットは40年続く歴史あるチーム。ここで潰すわけにはいかないと本格的に活動を開始した。県大会ではチーム一丸となって戦い、富岡町民の皆さんに明るい話題をお届けしたい」と抱負を語られました。

県大会は8月17日から郡山市開成山球場などで行われますが、詳しい日程や会場については下記までお問い合わせください。

富岡町体育協会 080-2826-0227

## 子どもたちが楽しく自然の大切さを学ぶ —歌やダンスも交え森の教室を開催—



楽しくダンスを踊る園児とマスコットキャラクター

国土緑化推進機構と福島県森林・林業・緑化協会の主催による「森の教室」が、6月25日、郡山市富田町のおだがいさまセンターで行われました。

この教室は、子どもたちに森林の持つ役割などを伝え興味を持ってもらおうと、主に東日本大震災で被災した浜通りの保育施設を対象に開催しているもので、郡山市近郊に避難している幼稚園児ら約20名が、歌のお姉さんとマスコットキャラクターによる「森林」をテーマにした歌やダンスで自然の大切さを学びました。

## アジアユースU19バドミントン選手権大会 日本初優勝 —富岡高校バドミントン部員が躍動—

2012アジアユースU19バドミントン選手権大会の国別対抗戦で日本が初優勝を果たし、日本代表メンバーとして活躍した富岡高校バドミントン部の選手5名が富岡町役場郡山事務所を訪れ、遠藤町長に優勝を報告しました。

大会は6月30日から韓国・金泉市で行われ、日本は決勝戦で強豪中国を破りアジアの頂点に立ち、さらに富岡高校3年の桃田賢斗選手が男子シングルスでもマレーシアの選手を破り、見事日本人として2人目となる優勝を飾りました。

報告会では大堀均顧問が大会結果とともに選手を紹介し、遠藤町長が「逆境に負けない皆さんの活躍から自信と勇気と元気をいただいた」と健闘を讃えました。

桃田選手は「町民の皆さんの温かいご支援のおかげで優勝ができた。今後も一層努力し皆さんに勇気をお届けしたい」と語り、8月に福井県で行われるインターハイや、岩手県で行われる東北総合体育大会、さらに10月の国民総合体育大会に向けて、チームメイトとともに健闘を誓っていました。



後列左から 松居圭一郎選手(3年)、桃田賢斗選手(3年)、小林 優吾選手(2年)、早田紗希選手(3年)、大堀 彩 選手(1年)



喜びの日本選手団(写真提供：日本バドミントン協会)

## お互いに顔が見え、安心できる避難生活を —郡山方部借り上げ住宅居住者会交流会—



今後の生活や会の予定を話し合った会員の皆さん

郡山方部借り上げ住宅居住者会の交流会が、6月27日、開成山大神宮社務所で行われました。

坂本正男会長が「長引く避難生活ですが、富岡に帰れる日まで絆を大切にし、心身とも元気に生活しましょう」とあいさつ。交流会では、情報交換や会の予定について話し合いを行いました。

会では今後、月1回の活動を目指し、8月11日には郡山市内3ヶ所の仮設住宅自治会と共同で、郡山市富田町仮設住宅敷地内での夏祭り開催を予定しています。

## 渡辺光祥さん(王塚行政区) —永年の交通安全活動に感謝状贈呈—



遠藤町長に受賞を報告する渡辺さん(右)

福島県交通安全教育専門員連絡協議会が過日行われ、王塚行政区の渡辺光祥さんに感謝状が贈られました。

渡辺さんは、平成10年1月から交通指導員として町内の子どもたちを見守り、また、同連絡協議会の役員も務められるなど、交通安全のためにご尽力されました。

現在、富岡町の交通安全活動は停止状態ですが、渡辺さんは、「今後も交通安全の普及に努め、富岡に帰還した時は、また町のために活動したい」と語られました。

## 結城松雄さん(王塚行政区) —ねんりんピック全国大会出場—



大舞台での健闘を誓う結城さん(右)

王塚行政区の結城松雄さんが、5月に行われた第20回すこやか福島ねんりんピックグラウンド・ゴルフ競技男子の部で優勝し、10月に宮城県で行われる全国大会への出場を決めました。

結城さんは震災後、四倉グラウンド・ゴルフ協会で活動されており「健康維持のため、家内と一緒にグラウンド・ゴルフを続け前向きに生活しています。今後さらに練習に励み、全国大会では上位入賞を目指し頑張りたい」と抱負を語られました。

## 子どもたちの願いを短冊に込めて… 町内保育施設・幼稚園・小学校で七夕まつり



願いを込めて短冊を飾り  
付ける児童たち(小学校)

郡山市富田町仮設住宅地内保育施設や、三春町の富岡幼稚園・小学校で、7月6日、七夕の集いが行われました。

子どもたちは、色とりどりの短冊に将来の夢や希望を書き込みながら季節の行事に触れ、夏の日を楽しく過ごしました。



「七夕さま」を歌う子どもたち(保育施設)



先生方による人形劇「七夕のお話」(幼稚園)

## T O P I C S



素晴らしい演奏を聴かせる秋田慎治さん

### ジャズピアニストから子どもたちへ 電子ピアノをプレゼント

ジャズピアニストの秋田慎治さんから、みはるせきれい保育施設に電子ピアノが贈られ、7月3日、郡山市緑ヶ丘応急仮設住宅集会所で贈呈式とミニコンサートが行われました。

秋田さんはソロコンサートの開催のほか、矢沢永吉氏のバンドメンバーとして全国ツアーに参加するなど精力的に活動されています。また、震災直後から被災地復興支援にも力を注ぎ、今回その一環として、子どもたちに音楽で元気になってほしいとピアノを寄付されたものです。

この日は、保育施設の子どものほか同仮設住宅に居住されている皆さんも多数訪れ、楽しい話を織り交ぜながら秋田さんが奏でるクラシックや童謡、ポップスなどの演奏を楽しみました。

最後に、子どもたちから御礼の手作りパネルが贈られ、秋田さんは「これからも楽しく歌を歌って、元気に過ごしてください」と笑顔で語られました。



子どもたちから贈られたパネルを手に記念撮影



# 町内の放射線量

富岡町が独自に実施した町内の空間放射線量の測定結果をお知らせします

測定場所	7月20日(くもり)			測定場所	7月17日(晴れ)		
	地上1m マイクロシーベルト/h	地上1cm マイクロシーベルト/h	年間積算量1m ミリシーベルト		地上1m マイクロシーベルト/h	地上1cm マイクロシーベルト/h	年間積算量1m ミリシーベルト
下千里消防屯所	3.41	4.04	17.92	小浜住宅団地内公園前	5.27	6.85	27.70
上千里消防屯所	2.55	3.40	13.40	双葉環境センター	2.43	2.93	12.77
杉内消防屯所	2.47	3.14	12.98	NHK電波塔入口(浜街道)	4.96	7.34	26.07
第二工業団地入口	2.87	3.59	15.08	深谷集会所	6.53	9.55	34.32
高津戸集会所	5.91	8.39	31.06	赤坂神社前	7.58	9.35	39.84
富岡第二中学校	4.60	4.66	24.18	太平洋ブリーディング前	14.70	22.20	77.26
新夜ノ森集会所	6.60	9.82	34.69	みよし前交差点	9.03	12.90	47.46
夜の森公園	2.97	4.22	15.61	富岡自動車学校前	8.94	14.10	46.99
松の前待避所	11.10	16.50	58.34	リフレ富岡	6.03	7.35	31.69
小良ヶ浜集会所	7.91	9.66	41.57	東洋育成園前	4.43	5.36	23.28
町境(小良ヶ浜地区)	5.32	8.00	27.96	富岡インター駐車場	4.83	5.28	25.39
深谷消防屯所	6.71	9.12	35.27	上手岡児童館	3.71	4.22	19.50
富岡野球場	6.26	7.73	32.90	下千里ライスセンター前	3.23	4.45	16.98
観陽亭前	1.10	1.12	5.78	館山荘前	4.43	4.46	23.28
富岡合同庁舎西側	3.32	4.54	17.45	夜の森つつみ公園	5.83	8.39	30.64
富岡養護学校	4.30	5.63	22.60	総合グラウンド東側駐車場	6.09	9.05	32.01
老人福祉センター	6.78	8.82	35.64	華の樹前	7.16	9.92	37.63
夜ノ森駅	7.98	9.93	41.94	宝泉寺前	4.68	5.68	24.60
王塚集会所	6.24	9.78	32.80	国道6号第二原発入口前	1.58	1.72	8.30
諏訪神社前	5.18	8.08	27.23	猪狩スタンド前	1.46	2.19	7.67
上本町消防屯所	3.93	6.45	20.66	なべや駐車場前	1.27	1.40	6.68
上本町集会所	3.82	4.54	20.08	大東銀行富岡支店前	3.46	4.55	18.19
リベラルヒルズ入口	2.95	4.58	15.51	富岡漁港	0.84	0.93	4.42
赤木集会所	2.47	3.44	12.98	サンライズイン富岡前	1.30	2.03	6.83
上郡山集会所	2.45	2.89	12.88	福島富岡簡易裁判所前	2.53	3.91	13.30
太田集会所	1.48	2.05	7.78	ヨークベニマル富岡店前	2.90	4.40	15.24
原下消防屯所	1.32	1.92	6.94	今村病院前	5.59	9.36	29.38
富岡駅	0.57	0.47	3.00	福島銀行富岡支店前	2.90	5.19	15.24
清水消防屯所	1.98	3.43	10.41	龍台寺前	2.82	4.16	14.82
役場	2.55	4.12	13.40	清水団地前	2.68	2.98	14.09
浄化センター	0.92	0.82	4.84	猪狩電気通信工業前	3.03	4.73	15.93
毛萱集会場	0.74	0.93	3.89	上郡消防屯所	2.65	3.28	13.93
富岡保育所	2.66	2.79	13.98	岩井戸鉱泉	1.44	1.60	7.57
中央児童館	3.05	4.36	16.03	富岡工業団地	2.10	2.49	11.04
栄町駐車場	2.33	3.19	12.25	成沢の滝入口	2.00	1.76	10.51
岩井戸消防屯所	1.70	2.34	8.94	沼名子橋	3.13	4.25	16.45

測定器：γ線用シンチレーションサーベイメータ(日立アロカメディカル社製)

【年間放射線量 算出方法(原子力安全委員会算出式)】

※1ミリシーベルト=1000マイクロシーベルト

1日のうち屋外に8時間、屋内(遮蔽効果(0.4倍)のある木造家屋)に16時間滞在するという生活パターンを仮定した場合  
今回の測定値×(8時間+0.4×16時間)×365日=年間放射線量(マイクロシーベルト)

# 連絡先一覧

## ○富岡町社会福祉協議会

〒963-8041

福島県郡山市富田町字若宮前32

高齢者等サポート拠点施設内

☎024-935-3345 FAX024-935-3334

## ○財団法人富岡町体育協会

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字中柵31-1

大槻公民館大槻分室内

☎080-2826-0227 FAX024-961-1301

## ○NPO法人さくらスポーツクラブ

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字中柵31-1

大槻公民館大槻分室内

☎080-3141-0068 FAX024-961-1301

## ○おだがいさまセンター

〒963-8041

福島県郡山市富田町字若宮前32

高齢者等サポート拠点施設内

☎024-935-3332 FAX024-935-3334

## ○富岡町さくらサロン

〒960-8253

福島県福島市泉字泉川15-7

☎024-557-8780

## ○ふくしま絆カフェ富岡

〒963-8833

福島県郡山市香久池1丁目20-27

☎024-925-2337

## ○富岡町役場郡山事務所

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5

☎0120-33-6466 FAX 024-961-3441

## ・富岡町役場郡山事務所分室 一時帰宅対策班

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字反田5-5

☎0120-33-6466 FAX024-953-6391

## ○富岡町教育委員会

〒963-0107

福島県郡山市安積1丁目39-1

山口薬品ビル内(安積行政センター東隣)

☎0120-33-6466 FAX 024-945-0348

## ○いわき出張所

〒970-8026

福島県いわき市平字梅本15

福島県いわき合同庁舎南分庁舎2階

☎0120-33-6466 FAX0246-88-1975

## ○三春出張所

〒963-7719

福島県田村郡三春町貝山字泉沢100-1

☎0120-33-6466 FAX0247-62-0901

## ○大玉出張所

〒969-1302

福島県安達郡大玉村玉井字台45-1

☎0120-33-6466 FAX0243-48-1147

## ・大玉仮設診療所

〒969-1302

福島県安達郡大玉村字横堀平158-10

☎0243-48-4710 FAX0243-48-4710

## ○富岡町議会事務局

〒963-0201

福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5

☎0120-33-6466 FAX024-961-3441

## 避難先届出のお願い

避難先住所の届出をされていない方や避難先を移動された方は、電話等により避難先の情報をお富岡町役場に届け出てください。



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙を使用して印刷しています。

発行 富岡町 〒963-0201 福島県郡山市大槻町字西ノ宮48-5

TEL : 0120-33-6466 FAX : 024-961-3441

E-mail : tomioka.machi@gmail.com

富岡町公式ホームページ【災害版】 <http://www.tomioka-town.jp/>

郡山駅前9番乗場発 新池下団地行きまたは 大槻行き  
停留所 西の宮停留所

